

2020年度(下半期)

事業所自己点検チェックリスト案 [ラヴォーロあおの丘with 就労継続支援B型事業所]

チェック項目	評価 (1~4を記入)	【記載欄】 ・うまく工夫している点 ・具体的にできていない内容や理由 ・課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 など
1 サービス提供方針を明確にしている	17	
① 利用者を主体とした支援を行なっている。	3	
② 利用者の意思を尊重し、利用者自身の自己決定の機会を保障している。	3	自己決定を促す姿勢は重視しているが、時に作業進捗の事もあり、指示的になる事もある。
③ 運営規程や活動内容、個別支援計画等の内容について、利用者に正しく説明を行い、同意を得ている。	4	
④ 利用者の社会参加の機会を保障している。	3	施設外就労を定期的に行なっている事で、外部、地域とのつながりの場は確保できていると思えるが、イベント参加等の機会が今年度特に少なかった事もあり、不特定多数との交流ができなかった。
⑤ 障害者福祉に関する法令、人権、労働、社会保障、消防等事業の運営に係るすべての関係法令を遵守している。	4	
2 社会参加・地域連携に取り組んでいる	16	
① 利用者が地域社会に参加し、役割を担い、社会経験の幅を広げる機会を作っている。	4	地域社会での役割、という点では、外部への施設外就労及び労務作業等で清掃業務を行なう事で、社会の枠組みの中で活動する事が出来た。
② 地域の企業や産業等との連携を通して、地域社会のニーズに応じた生産活動を行っている。	3	ニーズに応じた作業として、依頼があった仕事は基本的に受ける事ができていたが、マンパワー不足もあり、期待されている仕事量に届いていない作業もある。
③ 社会資源を活用し、地域における障害者のニーズに応じた支援に取り組んでいる。	2	社会資源の活用はあまりできていない。
④ さまざまな関係機関・団体と連携し、地域における支援のネットワーク作りに取り組んでいる。	4	地域の相談支援事業所、就労支援事業所等、関係機関の担当者とは既知となっているため、必要な時に必要な連絡をとりあうネットワークは出来ている。
⑤ 地域のなかで、事業所が地域の状況に応じた役割を果たしている。	3	地域企業から必要とされる事業所であるべく、依頼の幅を広げたり、成果量を増やしたりと、改善は続けていきたい。
3 支援体制を整えている	12	
① サービス提供に必要な人員を配置している。	3	法定の人員配置はクリアしているが、実務的には不足と感じている。
② 事業運営の理念・方針が設定され、職員間で遵守されている。	3	
③ 職員が心身ともに健康で意欲的に支援を提供できるような労働環境を整備している。	2	カロリーが高い方への支援など、特定の方が対応を背負うような形にはならないように、協力体制をしっかり作る
④ 職員の知識・技術の向上のために、研修等の機会を確保している。	2	職員研修として年二回は実施しているが、B型として、外部への施設見学等を考えていたにも関わらず、実施できなかった。
⑤ 職員間の意思疎通、支援内容の共有等を行うための時間や機会を日常的に確保している。	2	利用者の帰宅後、夕方の時間にスタッフ間での話し合いをしているが、それも日常的ではなく、また、日中に帰宅するスタッフとの情報共有が殆ど出来ていなかった。
4 権利擁護・虐待防止に取り組んでいる	14	
① 職員による利用者への暴言や差別等の不適切行為を防ぐため、支援者間で支援を振り返り、意識を高めている。	2	支援者間での振り返り、情報共有の場が定期的に持っていないため、気になった時にその都度個人的に指摘する、といった状況。
② 職員による利用者への虐待行為を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切に対応をしている。	2	研修参加の機会をスタッフ全員に設ける事が出来ていない。
③ 利用者からの苦情に対する「苦情解決体制」やマニュアルを整備し、適切に対応している。	4	
④ 虐待防止委員会の設置等、職員による虐待・差別行為の防止を徹底している。	4	
⑤ 個人情報の取り扱い、秘密保持に十分注意している。	2	個人に関する話を、他の利用者がある場です話しまふ、といった場面が少なくない。
5 緊急時の対応のための備えができています	20	
① 「緊急時対応マニュアル」が策定されており、利用者の事故やケガ等が生じた際の対応を行っている。	4	
② 身体拘束について職員間で共有し、やむを得ず行う場合の対応についての記録や説明を十分に行っている。	4	
③ 防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定している。	4	
④ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	4	
⑤ 安全確保のためのヒヤリハット事例集を作成し、職員間で共有している。	4	
6 業務改善の仕組みがある	13	
① 業務改善を進めるために、PDCAサイクルに広く職員が参画している。	1	PDCAがサイクルする事も少ないのが現状。こうしてみよう、あおしてみよう、といった意見が積極的に出せるような環境が必要
② 利用者の意見を把握するためのアンケート調査等を実施し、その結果を業務改善につなげている。	4	
③ サービス提供時に得られた事柄を、マニュアルや手順書の見直しに反映させている。	3	
④ この「自己点検チェックリスト」の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	4	
⑤ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	1	

7 アセスメントを適切に行っている	17	
① 利用者の意思を尊重し、利用者一人ひとりのニーズや希望する生活等を、アセスメントを通して把握している。	4	
② 利用者の理解度に合わせてアセスメントの趣旨と今後の手順を適切に説明し、丁寧な聞き取りを行っている。	4	
③ 利用者の心身の状況や障害特性等を適切に把握している。	3	大多数の方については、把握できているが、一部の方について、情報があやふやになっている方がいる。
④ これまでの生活歴や支援経過も念頭において、聞き取りを行っている。	3	直近の支援経過に基づいての聞き取りを行なっているが、利用開始前等の情報については、全員理解できていない。
⑤ 利用者に関係する部署、機関、家族、ボランティアなどから情報を収集している。	3	

8 個別支援計画に沿った支援を行っている		16	
①	利用者一人ひとりのニーズや希望する生活等を実現するための支援を個別支援計画に記載している。	4	
②	個別支援計画の内容は、相談支援専門員が作成したサービス等利用計画の内容と連動している。	4	
③	目標、期間、支援内容が具体的であり、役割が明確になっている。	3	
④	個別支援計画作成の際にできるだけ利用者の言葉を用いて分かり易く表現している。	3	
⑤	個別支援計画の内容を支援者間で共有し、計画に沿った支援を行なっている。	2	計画に沿った支援、関わりについては、実施できていない方もいる。
9 利用者の状況に応じた支援を行っている		17	
①	利用者の心身の状況や障害特性等を把握し、一人ひとりに応じた適切な支援を提供している。	3	
②	利用者の特性や状態に応じて、利用者が安心して過ごしやすい環境を整えている。	3	
③	支援内容の説明や情報の提供の際は、利用者の特性に配慮して、適切に行っている。	3	
④	利用者と共に意思疎通を図り、円滑なコミュニケーションがとれるよう努めている。	4	
⑤	モニタリングを行い、利用者の状況や意向を確認し、それを反映した支援を随時行っている。	4	
10 就労に関する支援を行っている		17	
①	生産活動によって得られた収入から、利用者の工賃を適切に支払っている。	3	
②	工賃の向上のために、営業活動等の収益を増やすための取り組みを行っている。	4	作業受託企業に対して、単価の高い作業を依頼する事が出来た。また、クッキーBOXの配置についても営業する事が出来た。
③	生産活動を通して、一人ひとりの役割ややりがいが高めるための取り組みを行っている。	3	
④	利用者の希望に応じて、一般就労や就労A型などへの移行のための取り組みを行なっている。	4	就業・生活支援センターや、ハローワークと連携して、チャレンジトレーニング等の実習をすることが出来た。
⑤	生産活動に必要な設備、備品等、利用者一人ひとりの特性に応じた工夫をしている。	3	

※この「自己点検チェックリスト案」は、平成30年度厚生労働科学研究費補助金「障害者の福祉的就労・日中活動サービスの質の向上のための研究」を通じて作成したツールであり、結自事業所の取り組みを振り返るにあたって参考にさせていただくものです。

	チェック項目	評価 (合計)
1	1.サービス提供方針を明確にしている	17
2	2.社会参加・地域連携に取り組んでいる	16
3	3.支援体制を整えている	12
4	4.権利擁護・虐待防止に取り組んでいる	14
5	5.緊急時対応のための備えができています	20
6	6.業務改善の仕組みがある	13
7	7.アセスメントを適切に行っている	17
8	8.個別支援計画に沿った支援を行っている	16
9	9.利用者の状況に応じた支援を行っている	17
10	10.就労に関する支援を行っている	17
	合計	159

／200



